

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

湖南省きらめき・ときめき・元気創生まちづくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

滋賀県湖南省

3 地域再生計画の区域

滋賀県湖南省の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、1970年代の高度経済成長期から1990年代のバブル経済期にかけて急増したが、1995年あたりから伸びが鈍くなり、2005年に55,325人でピークを迎え、2015年では54,289人と、緩やかな減少期に入っている。住民基本台帳によると2020年には55,102人となっている。

年齢3区分別の人口動態については、年少人口（0～14歳）は1990年の11,062人をピークに、2015年では7,588人と約31%減少している。一方、老年人口（65歳以上）は一貫して増加傾向にあり、2015年では11,576人（総人口に占める割合は約21%）となっている。また、生産年齢人口（15～64歳）は2005年の39,384人をピークに減少に転じ、2015年では34,727人となっている。

自然動態については、出生数は減少傾向が続いているのに対して、死亡数は増加傾向にある。2017年まで出生数が死亡数を上回っていたが、2019年には逆転し、同年には13人の自然減となっている。また、合計特殊出生率をみても、2018年には1.35と全国及び県の値を下回っている。

社会動態については、1995年までは1つの階級以外の年齢階級で転入超過であったものが、2015年ではほとんどの年齢階級で転出超過となり、特に20代～30代女性については、2010年と2015年の比較で374人の転出超過となった。その後も転出が転入を上回る社会減の状態が続いていたものの、転出と転入の差が小さくなり、2019年には256人の社会増となっている。

しかしながら、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2060年には38,286人まで減少し、2015年との比較で約29%減少するとされている。

こうした人口減少は、地域コミュニティの弱体化、消費の減少による経済活力の低下、公共施設や社会インフラの維持が困難になるなど、暮らし、地域経済、地方行政をはじめ、社会の様々な面で課題が生ずると考えられる。

これらの課題に対応し、人口減少に歯止めをかけ、若々しいまちを実現するためには、地域で支えあう子育て環境や暮らしやすい居住環境の実現、地域経済の活性化といった地域の活力を創生していくことが重要であると認識し、「働く場の創出プラン」、「ひとへの投資プラン」、「まちづくりプラン」の3つを今後の施策の柱と位置づけ、SDGsと関連づけながら施策を展開していく。これにより、2060年までに合計特殊出生率が国民希望出生率とされる1.8程度まで向上するよう、また、転入転出が均衡するよう取り組むものとする。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- 基本目標1 安定した雇用を創出する
- 基本目標2 新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標4 時代にあった地域づくり
- 基本目標5 誰もが活躍できる社会をつくる
- 基本目標6 安心して暮らせる住環境整備

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規創業件数	11件	12件	基本的方向1
	甲賀ハローワークでの新規求人数	14,400人	16,700人	

イ ウ	観光入込客数	631,800人	796,000人	基本的方向2
	社会動態（5年間累計）	-712人	0人	
	出生数（5年間累計）	2,048人	2,232人	
エ オ カ	地域まちづくり協議会が主体となる協働事業の参加者数	28,493人	38,000人	基本的方向4
	健康寿命の延伸	(男性) 78.39歳 (女性) 80.91歳	(男性) 79.84歳 (女性) 81.49歳	基本的方向5 基本的方向6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

湖南省きらめき・ときめき・元気創生まちづくり計画事業

ア 安定した雇用を創出する事業

イ 新しいひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代にあった地域づくり事業

オ 誰もが活躍できる社会をつくる事業

カ 安心して暮らせる住環境整備事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

若い世代から高齢者まで幅広い年代の人々、また、障がい者、外国人にとって、多様で魅力的な働く場の確保を行うとともに、子育てや介護、趣味

等の生活と仕事が調和する多様な働き方ができる環境を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・金融機関との連携や空き家の活用等による若者や女性の起業支援
- ・湖南省出身の若者や女性が学んだことを生かして働ける職場の確保等

イ 新しいひとの流れをつくる事業

積極的な情報発信による移住・定住の促進や観光による交流人口の増加、関係人口を創出する事業。

【具体的な事業】

- ・関係人口になるきっかの提供や環境づくり、受入地域における取組への支援
- ・地域の魅力を高めたり、経済規模を拡大するとともに、本市の知名度、認知度を高める観光交流の活性化 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を行う事業。

【具体的な事業】

- ・若者の結婚に対する理解の促進や意欲向上を促進したり、対話のスキルを高める取組や、出会いの機会を創出する取組を支援
- ・出産までの各種の支援の充実、夜間保育、病児保育等の保育環境の充実 等

エ 時代にあった地域づくり事業

市民や事業者が地域づくりの主体として地域に根差した公益事業を担うまちを創出する事業。

【具体的な事業】

- ・各種のまちづくり活動の横のつながりを強化し、効果の最大化を図るため、多様な活動団体の協働や相互の連携を促進
- ・市民や事業者との協働によるまちづくりの推進 等

オ 誰もが活躍できる社会をつくる事業

誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を創出する事業。

【具体的な事業】

・一人一人が個性と多様性を尊重され、それぞれの持つ能力を発揮し、生きがいを感じながら暮らすことができる地域コミュニティづくりへの支援

・健康寿命の延伸のため、新たな仲間づくりやアクティブシニアが活躍できる場づくり、介護予防、生きがいづくり等の支援を促進 等

カ 安心して暮らせる住環境整備事業

助け合いが根付く地域との協働による暮らしやすいまちづくりとともに、誰もが安心して快適に暮らすことができるまちを創出する事業。

【具体的な事業】

・市内の移動手段の利便性向上や京阪神との連絡の強化を図るため、JR草津線やバス等の公共交通の改善・向上

・子ども・若者・子育て世代・高齢者・障がい者・外国人等の誰もが暮らしやすい魅力的なまちづくりを推進 等

※ なお、詳細は湖南市第二期きらめき・ときめき・元気創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,912,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

産・学・官・金・労・言のメンバーで構成される「湖南市戦略茶話会」において評価、検証し、改善点を踏まえ、次年度の事業の実施に向けて改善策を検討する。検証結果については公表する。

事業実施年度の翌年度（8月頃）、上記会議体において、事業の結果を検証し、事後の取組方針を決定する予定。

目標の達成状況については、検証後速やかに湖南市ホームページにおいて公表する。

⑥ 事業実施期間

2021年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで